

第 6 回

わが社の防火

社会福祉法人竹井病院

竹井医院介護医療院 院長 竹井 康純



はじめに

今年も新型コロナウイルスの為各人の行動の自粛が要請されており、現在当院ではコロナウイルス感染予防に神経を使う毎日が続いています。このような時期令和3年3月7日の消防記念日にあたり消防協力者感謝状を頂き当院にとりまして明るい話題となりました。感謝申し上げます。

当院の紹介

昭和14年創立の竹井病院は昭和27年に戦後の生活困窮者のため社会福祉法人竹井病院として開設されました。その後介護、医療療養型病棟の

入院施設になり今日まで来ましたが、これらの施設が国の廃止の方針により平成30年10月より介護医療院に転換し現在に至っています。入所対象者は介護を必要とし胃瘻や経鼻チューブ、酸素吸入や喀痰の吸引及び点滴等何らかの治療や処置を必要とする方等です。全病床には酸素や吸引の配管がされています。屋上庭園での日光浴も楽しんでもらっています。



通報訓練実施風景

防火防災対策

院内は火災関係の警報装置、エレベーター、酸素、心肺に関する警報等多くの警報装置がありAEDも備えており夜間当直者には警報に対応ができるように指導を強化しています。高齢の方が入所されているので夜間の巡回は頻繁に行っており防火、防災には大変気を使っています。当然建物全体にはスプリンクラーが設備されています。



消防訓練では業者や消防署職員の指導の下、職員への出火場所の確認、初期消火の大切さを教え特に夜間を想定した避難訓練を重視しています。屋上庭園では消化器や放水訓練もします。病棟のベッドは全てが簡単な操作により移動しやすいものを採用しています。

今後も問題が起きないようにまた有事にはすぐに対応できるように防火・防災意識を持つための訓練を続けていきたいと思っています。

